

見学会ならびに講演会

『京都市産業技術研究所』

京都市産業技術研究所は、繊維技術センターならびに工業技術センターが積み重ねてきた伝統や強みを相互に活用し、立地的統合による相乗効果を生み出すべく機能融合の積極的な推進を図り、また、公設研究機関として果たすべき役割である中小企業への技術支援の充実を図るため、昨年10月1日に統合されました。

この統合により、「技術移転・指導」、「研究開発」、「試験・分析」、「人材育成」の基本4機能の推進を図り、両センターが蓄積してきたポテンシャルを最大限に発揮し、京都のものづくり文化の優れた伝統の継承と新しい時代の感性豊かな先進産業技術の創造を目指す公的研究機関となります。

新設の同研究所見学会と同研究所の繊維技術関連の若手研究者より数件のシーズ発表会を企画しました。多数の方々のご参加をお待ちしています。

【日時】平成23年3月15日（火）13.30～16.30

【会場】京都市産業技術研究所 多目的ホール

（京都市下京区中堂寺栗田町91、JR嵯峨野線「丹波口駅」下車、西へ徒歩約8分、

<http://kitc.city.kyoto.lg.jp/>）

【内容】

1. 新研究所の概要（13.30～13.50）

京都市産業技術研究所 研究室長 八田 誠治

2. 繊維技術関連の若手研究員による研究シーズ発表（13.50～15.30）

- | | | | | |
|---------------------------|----------|-------|----|----|
| （1）西陣産地の特徴と技術的業界支援 | 製織チーム | 研究員 | 本田 | 元志 |
| （2）染織分野におけるデジタル技術を用いた研究開発 | 繊維系材料チーム | 研究員 | 廣澤 | 覚 |
| （3）樹脂加工が炭素繊維の反射光に与える効果 | 繊維系材料チーム | 研究員 | 上坂 | 貴宏 |
| （4）感覚を評価する | 繊維系材料チーム | 研究員 | 小田 | 明佳 |
| （5）和装品におけるトラブルとその解決への取り組み | 繊維系材料チーム | 主席研究員 | 真下 | 美紀 |

3. 名刺交換会

4. 京都市産業技術研究所の見学（15.45～16.30）

- （1）材料技術関連（繊維系、有機系、金属系）
- （2）加工技術関連（バイオ、酒造、表面加工、布帛製造、染色加工）
- （3）製品化支援技術関連（陶磁器、セラミック、コンピューター応用、デザイン）

【定員】100名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

【参加費】会員 3,000 円，非会員 5,000 円，（いずれもテキスト代，消費税を含む），学生無料

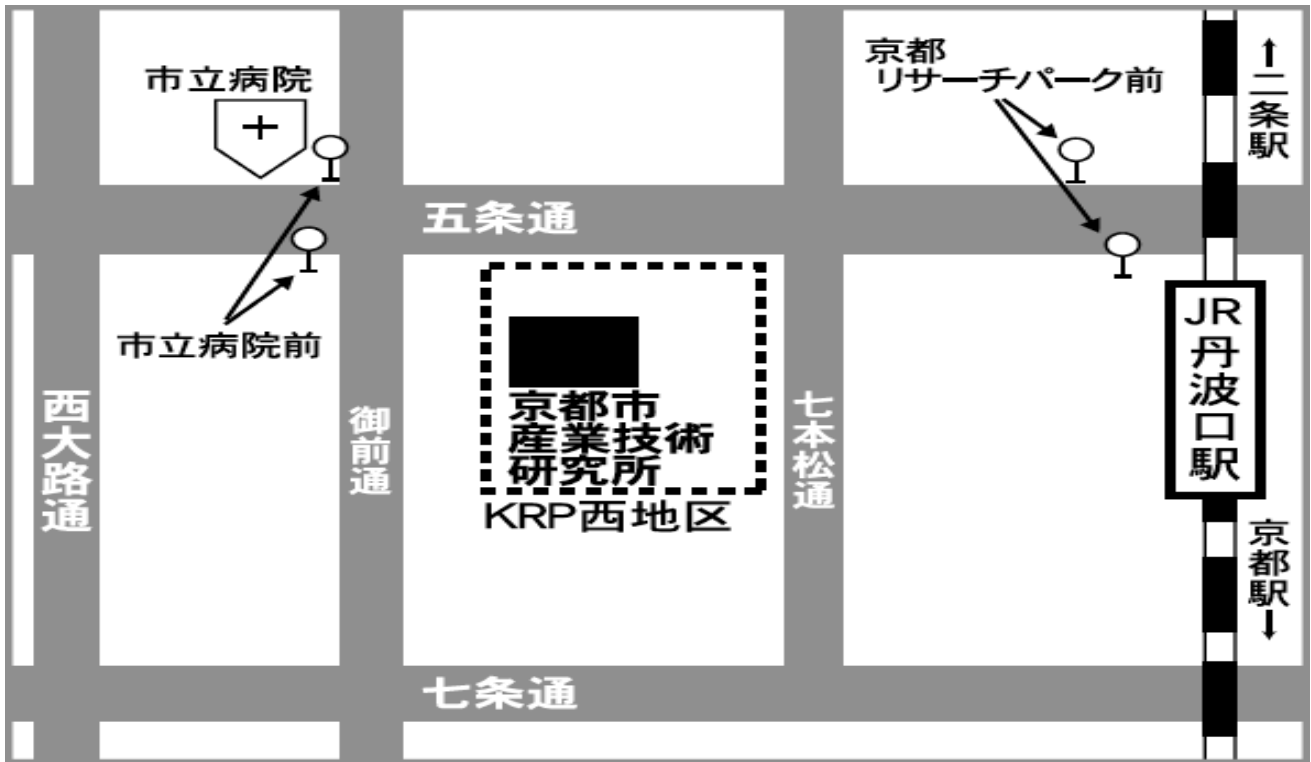
【申込】次頁の申込書または「京都市産業技術研究所見学会ならびに講演会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込みください。

日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

【交通アクセス】京都市下京区中堂寺栗田町 91



○市バス（バス停）

- ・市立病院前 東へ徒歩約 4 分
- ・京都リサーチパーク前 西へ徒歩約 6 分
- ・西大路五条 東へ徒歩約 8 分

○JR 嵯峨野線「丹波口駅」西へ徒歩約 8 分

(社) 日本繊維機械学会 行

FAX : 0 6 - 6 4 4 3 - 4 6 9 4

E-mail : i-love-tmsj@nifty.com

平成 23 年 3 月 15 日 (火) 開催

「京都市産業技術研究所 見学会ならびに講演会」参加申込書

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____ FAX : _____

E-mail: _____

会員種別 : _____

連絡事項 :

今後、本学会からの開催行事案内メール配信を

希望する ・ 希望しない

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____